



温室効果ガス排出量検証報告書

NECソリューションイノベータ株式会社 御中

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、NECソリューションイノベータ株式会社が算定した2023年度のScope3の温室効果ガス(GHG)排出量(以下、「算定報告書」という。)が、同社により作成された「Scope3算定の考え方(2024年9月17日版)」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2023年度とは2023年4月1日~2024年3月31日までの期間をいう。

検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社のGHG排出量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲はScope3のGHG排出量(全15カテゴリ)とした。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量における5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲はNECソリューションイノベータ株式会社の国内35拠点である。

検証では、算定ルールの確認、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定・集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の2023年度Scope3のGHG排出量において、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

算定報告書の作成責任はNECソリューションイノベータ株式会社にあり、GHG排出量の検証の結論に関する責任は当機構にある。NECソリューションイノベータ株式会社と当機構の間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目25番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田純男

